



一年間務めた副議長の任期を終えました

6月7日(火)に開催された本会議にて、昨年より務めてきた副議長の任期を無事に終えることができました。

この一年間、副議長の立場のもとで議会運営に関する様々な取り組みに携わることができました。例えば「議会運営等検討協議会」の座長への就任です。

本協議会では各会派より選任された9人の委員の方々と共に、2つの事項をまとめました。



協議事項の一つは「会議規則改正に伴う欠席事由の運用」です。どんな時に(疾病・育児・看護・介護・産前産後など)どう届け、どう所作するか等を整理しつつ、オンラインの活用や長期欠席時における報酬減額の取り扱いについて検討すべきとの付帯意見を付けて、議会運営委員会に戻しました。もう一つは「コロナ禍における議会運営のルールづくり」です。感染防止策、会議の開催や入場ルール、議員活動といった内容を取りまとめました。何れも協議会で討論した結果を踏まえての、議会での運用が始まっています。

議会を代表して議場の秩序保持・議事の整理などを行う議長を補佐する役割は、大変貴重な経験でした。得られた経験を今後の活動にしっかりと活かしていきます。

アスルクラロ沼津の照明改修問題、解決に目途



ホームスタジアムである県営愛鷹広域公園多目的競技場の照明設備の基準不足の関係からJリーグに残れなくなる問題(いわゆるアスルクラロ2023年問題)がありましたが、チームの努力や市内外の企業による支援、地域の方々や沼津市からの支援によりスタジアム改修の目途が立ち、存続の危機は回避できる見込みとなりました。

チームがJリーグ加入を目指した2013年以降、近い将来に地域の宝の一つになり得るとの確信から、競技場前の広場にて来場者が遊びや飲食を楽しむ場を創出するなど、仲間と共に裏支えしてきました。チームの更なるまちづくりへの寄与を願いつつ各種の活動を継続していきます。

沼津に多大な功績を残した江原素六先生の銅像が建立



5月15日(日)に行われた江原素六先生誕生180周年・没後100年記念祭式典に参加。教育者・実業家・政治家などとして活躍された郷土の偉人の功績を改めて感じました。式典中、映像として残る江原先生の姿を見ることができ、大変感激しました。

記念事業としてJR沼津駅北口に銅像が設置されましたので、お近くにお寄りの際は、是非ご覧ください。地元議員として建立に携わることができ大変ありがたかったです。

郷土の記憶を未来につなぐ取り組みなどのご紹介

沼津市に残る地域独自の昔ばなしを未来に繋げていきたいとの思いから、約半世紀前に発行された「ぬまづ昔ばなし」を再編出版し、沼津市内の小中学校に無償配布する取り組みを仲間と共に進めています。この8月に初刊を刊行予定です。

読み聞かせや授業、ウォークラリーなど、学校現場や各種団体と連携した書籍の活用も進めていく予定です。また、誰でもご覧いただけるよう、ホームページでも公開します。現在、沼津市内の自治会の皆さま方をお願いをし、取り組みをご紹介するチラシを回覧いただいています。

また、障害のある方々が個々の得意を活かして地域に必要とされている仕事をする枠組みづくりの一環として、地域にお住まいの皆さまが日常的に使用されている「折り畳み式ゴミかご」の制作に取り組んでいます。“沼津市 民間支援まちづくりファンド”に採択された事業です。今年度中に形にすべく、仲間と共に取り組んでいます。



6月定例会において、ある議員さんが受けた懲罰の撤回などを求める請願（要望等を議会に訴える手段の一つ）が407名の方々より提出され、請願の内容を審査する特別委員会が設置されました。以降、委員長として委員の皆さまと共に慎重な審議をしています。

